

# 窓友

そうゆう



2024.9  
Vol. 9

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY  
ALUMNI ASSOCIATION

— 大阪教育大学 —

同窓会天遊会会報



## Contents

- |    |   |    |         |    |                  |
|----|---|----|---------|----|------------------|
| 02 | GREETING                                  | 05 | 在校生の活躍  | 10 | 令和5年度事業・決算報告／    |
| 03 | 第8回ホームカミングデーonline実施報告／<br>「OKU朝食支援事業」を実施 | 06 | 卒業生の活躍  |    | 役員・顧問名簿          |
| 04 | クラブ紹介                                     | 08 | 卒業生の活動  | 11 | 名簿管理システム         |
|    |   | 09 | 天遊会会員特典 | 12 | 第9回ホームカミングデーのご案内 |



## GREETING



天遊会会長

島内 武

昭和43年

教員養成・小・生物 卒

### 母校の創基150年に思う

今年、母校・大阪教育大学前身の「教員伝習所」が設けられて、150年を迎えます。この母校創基150年を、卒業生として祝えることを大変うれしく思います。

天王寺キャンパスの天遊会事務局分室前に、当時の学生の様子を伺える黒松の切り株があります。江戸時代の絵図に描かれた「蛸の松」の幹の一部です。

教員伝習所の名を改めた大阪府師範学校が、明治時代の前期から中期にかけて、中之島の久留米藩蔵屋敷跡にありました。その頃は、全学生が寄宿舎生活でした。

その寄宿舎の裏に勇壮な枝ぶりの「蛸の松」があり、当時の学生たちはそれを仰ぎ、学びの友として、日夜勉学に励んだということです。このエピソードは、新しい教育制度誕生の頃の先輩たちの姿を想像させます。当時の先輩たちは、共に切磋琢磨して励み、共に泣き笑いしてきたことでしょう。

私はこのようなことにも思いを馳せています。

それは、同窓会が分かれていた歴史や、かつての全学同窓会が有名無実であった歴史があるものの、150年の間、先輩たちが大阪の教育をリードしてきたり、教職以外の分野で活躍してきたりしてきたことです。それは、今の私たちの活動の土台となっています。

その土台とは、先輩たちが積み重ねてきた数々の実績や信頼です。次は、私たちがこれからの時代に向けて、その土台の上に、新たな土台を積み重ねていく番です。みなさん、それぞれの立場で共に頑張りましょう。



学長

岡本 幾子

### 大阪から日本の教育を変えていく

1874(明治7)年5月に設置された教員伝習所をその起源とする大阪教育大学は、今年、創基150周年、開学75周年を迎えました。歴史と伝統を有する大阪教育大学のすべての卒業生・修了生を対象とする全学同窓会である天遊会の皆さま、心よりお祝い申し上げます。

変化が激しく予測困難な時代において、社会や教育の抱える課題は複雑化・多様化しており、学校現場においても、多様な主体と協働して課題解決に臨むことが求められています。本学は現在、文部科学大臣から「教員養成フラッグシップ大学」の指定を受け、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革していくためのけん引役としての役割を担っております。

本年4月、天王寺キャンパスに「みらい教育共創館」がオープンしました。“Being your Hub”を掲げ、教育

委員会・学校現場・行政・産業界・大学等が、それぞれ抱える課題(弱み)や資源(強み)を一堂に集積し、産官学連携のもとで新しい時代に相応しい学びのあり方を追求し、場所的制約を超え、多様な人々が共創・発信できる拠点としての役割を發揮してまいります。

我が国有数の教員養成系大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における素晴らしい人材を育成することにより、日本の未来の教育を先導する大阪教育大学の更なる発展のために、天遊会や「窓友」が共に役割を果たして下さることを引き続き期待しております。

# 第8回 大阪教育大学 ホームカミングデー online 実施報告

毎年、本学と本学同窓会組織である同窓会天遊会との共催事業として卒業生を柏原キャンパスに迎え、懐かしい日々を思い出しながら仲間と再会し、交流・親睦を深めるホームカミングデーを実施しており、昨年に引き続き、今年もオンラインで開催しました。

このイベントでは、懐かしの大教大・今の大教大の紹介、学生による音楽会の模様やクラブ・サークル活動の紹介、キャンパスツアーなどの映像をお楽しみいただくことができ、さらに今年は趣向を変えて2023年11月3日(金・祝)の神霜祭に合わせてYouTubeによるLIVE配信を行いました。本学卒業生で元朝日放送アナウンサーの乾龍介氏による進行で、「人」をテーマに「人にまっすぐ!大阪教育大

学の人の魅力」を様々な角度から迫る生配信を約2時間にわたり届けました。

LIVE配信では、吹奏楽部のファンファーレ演奏でスタートし、卒業生で漫才師のチキチキジョニーからのビデオレターを配信した後、乾氏と岡本幾子学長の対談が行われました。対談では、岡本学長の魅力に迫り、とてもパワフルでチャレンジ精神に溢れる親しみやすい人柄が画面から伝わり、また、卒業生で現在本学学長特別補佐の安井義和名誉教授や谷村さくら特任准教授との対談では、昔話に花が咲き、大いに盛り上がりました。このほか、学生プロデュース企画に密着取材した映像の配信や神霜祭の様子を放送研究会の学生が生中継でレポートするなど、学生の活動も配信しました。

視聴者からは「タイムスリップしたような時間を過ごせました」「神霜祭が懐かしいです」「学生の頑張っている姿が素晴らしいです」などの感想が寄せられました。



## 学生生活の「食」の支援 「OKU朝食支援事業」を実施



受け、朝食をとるきっかけとしてもらおうと、柏原キャンパスでは平日授業開始前からおにぎりやパン、シリアルパー、ドリンクなどを無料配布、天王寺キャンパスでは9種類のオリジナル弁当を100円で販売しました。

学生生活を「食」の面から支援する「OKU朝食支援事業」を柏原キャンパスと天王寺キャンパスで令和5年度に2回実施しました。

この取り組みは、朝食をとる時間がない、近年の物価高の影響等により食費を節約しているといった理由で、朝食をとらずに授業を受ける学生が一定割合いることを

学生たちには大好評で毎日わずか20分でなくなってしまうという状況となり、段階的に数量を増やし対応しました。

学生たちからは「朝起きるのが苦手で、朝ごはんをゆっくり食べることができないので、こうして大学でおにぎりを食べることができるのはありがたい」「家から大学まで遠く、1限から授業がある日は朝食がなかなかとれないのでありがたい」「アルバイトをしていますが、食費が浮くのですごく助かった」といった意見や、「課外活動で朝練をしているので、タンパク質と炭水化物などを含んだ弁当などがあれば、より自身の体力維持に繋がると思う」との意見も寄せられました。



# 準硬式野球部

主将 4回生 松尾 知弥



こんにちは。大阪教育大学準硬式野球部です。

現在私たちは、選手28名、マネージャー8名の計36名で活動しています。私たちは、部員数や全体練習の回数も他部活に比べて決して多

くはない中で、全日本大学準硬式野球選手権大会出場を目指し、昨年は「考える野球」、今年は「PDCA野球」をテーマにして、1回1回の練習に全力で取り組んできました。その結果、現在2年連続で春季リーグ戦優勝、関西選手権ベスト4を果たし、昨年9月には清瀬杯第55回全日本大学選抜準硬式野球大会準優勝、今年も昨年と同様に清瀬杯への出場が決まっております。日々練習に取り組んでいます。ここでは私たちがどのようなチームなのかを紹介させていただきます。

まず、私たち大阪教育大学準硬式野球部では、一般的な指導者という存在がおらず、練習メニューの作成から部活動の運営まで部員自身で行っています。練習メニュー作成、試合時のオーダー作成・采配、合宿や練習試合の手配、SNS運営、会計、グラウンド・日程調整、リーグ理事など、仕事は多岐にわたります。高校までは野球の練習だけをしていればよかった部活動が、運営まで全て自分たちで行うようになり、そういった部分で大変さや困難が多くあります。しかし同時に、自分たちで全てを行うことで、これまでの周囲の環境の大切さに気づき、私たちの成長にも繋がっています。

また、基本的に練習や試合は指導者がおらず学生のみで行うため、技術力向上に関する取り組みも先輩後輩関係なく、部員同士でアドバイスをし合いながら行っています。その代表的な取り組みとして、一昨年から「縦割り」制度を導入し、毎回の練習前と後に異学年3人1組となってその日の目標・反省点・改善点・互いへのアドバイス等について話し合う時間を設けました。この取り組みにより、一人

ひとりの練習へのモチベーション向上・意識変化に加えて、学年間の壁も失くすことができました。こういったことから、部員の自主性、積極性が生まれ、野球に対して一人ひとりが高校時代までよりもさらに深く考えて練習することができています。

そして、私たち大阪教育大学準硬式野球部の一番の強みはチーム力の高さです。

これは私たちが先輩方から受け継いできた最も大切にしている部分です。現4回生の入部当時から、後輩からも意見が言いやすい環境づくりや、学年を超えたコミュニケーションを活発に行うことを、先輩方が積極的に行われていました。現在も、チーム力を高めるための環境づくりを上級生が意識して部活動を行っています。実際に、同じリーグに所属する他チームや審判員の方達からも「大教大はチームの雰囲気がとても良い」、「全員が1つになった時の力がと



てもある大学」といった評価をいただくことがよくあります。このチーム力の高さを活かして、練習時の雰囲気の良いさはもちろん、試合時にも部員数の多い強豪校に負けない雰囲気づくりや声掛けが実現されており、そのため、継続的に良い結果を残すことができています。

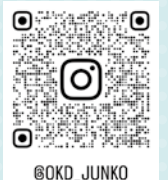
このように、私たち大阪教育大学準硬式野球部はチーム全員で共通の目標に向かって切磋琢磨し合いながら練習しています。また、最後になりましたが、OB・OGの皆様方から多くのご支援を受けて、私たちは日々部活動に取り組むことができています。この場を借りてお礼申し上げます。これからも周囲の皆様への感謝を忘れずに、大教大準硬らしい野球ができるように努力し続けていきたいと思っております。

今後とも、大阪教育大学準硬式野球部への応援よろしくお願いたします！

準硬式野球部Instagram▶

部員数 35人(2024年6月現在)

創部年 1958年



@OKD\_JUNKO



## 困窮する子どもを一人でも多く助けたい

初等教育教員養成課程 小学校教育専攻夜間5年コース(3回生) 谷口 和花菜(茨城県立土浦第二高等学校)



谷口和花菜さんは学業のかたわら、大学生が運営する募金運動「あしなが学生募金」の事務局長として、全国の事務局員と協力しながら募金ボランティアの取りまとめや事務組織の運営、困窮する子どもたちの現状を広く伝えて支援を訴える啓発活動などに精力的に取り組んでいます。年間延べ1万人規模のボランティアが参加する全国組織のリーダーになったのは、意外なきっかけからでした。

「あしなが育英会の奨学生は、街頭募金に必ず参加することになっています。それで1回生の9月にあった説明会に出席したんですが、募金だと思っていたのが実は勘違いで、事務局の説明会だったんです」。そこで先輩学生に誘われて事務局に入り、翌2月には兵庫東ブロックの代表になります。その半年後、関西エリアの代表が任期途中で辞めることになり、ブロック代表を続けたままエリア代表を兼任。さらにそこから、前任の事務局長に頼み込まれ、入局から1年半足らずの2023年2月、全国の学生ボランティアの代表に就任したのです。

怒涛のような1年半を振り返るときも、常に明るく笑いの絶えない谷口さんですが、その心の根底には、「困っている子どもを助けたい」というぶれない軸があります。それは自身の育った環境が大きく影響していました。「中学3年生のときに母親を亡くし、高校1年生で父親とも別れて、当時大学生の姉と2人きりでどうやって生活したらいいのかもわからない状態になりました。そのときにたくさんの人に助けってもらったから、私も困っている子がいたら助けたい、力になりたいという思いが常にあります」



事務局長にならないかと頼まれたときにも、考えたのは「子どもを助ける」という視点からでした。「半年しかでき

なかったエリア代表の仕事をもう1年やりたい気持ちもありましたが、全国に行っても、子どもたちを救うためにどうするか考えるという根本の部分は変わらないと思いました。それに、来年もこんな機会が来るとは限らない。それなら今がんばってみようかなと、引き受けることにしました」

加えて、4月からはこども家庭庁に設置されたこども家庭審議会委員に任じられました。あしなが育英会奨学生の代表として、苦しい生活を送る遺児家庭の当事者の意見を国に伝える役目を担います。「遺児の状況を多くの人に知ってもらって、みんながやりたいことに挑戦できる、明るく生きられる社会になってほしい。そのために一当事者として、『こういう支援が必要なんです』とか『こういうときに遺児は困っています』ということを伝えていきたい」と意気込みます。

夜間コースに通う谷口さんの日常は、昼間はアルバイトと事務局の活動、夜は授業と多忙です。しかしそんな中でも、事務局のミーティングの合間に仲間とおしゃべりしたり、同じコースの仲の良い友人とお茶やご飯に出かけたりと、大学生らしい時間も楽しんでいます。毎年新作が公開される『名探偵コナン』の映画も楽しみの一つ。さらには小学生の頃に始めた琴をまた弾きたいという意欲もわいてきて、やりたいことは尽きません。

心に確固たる芯を持ちながらも気負いすぎることなく、軽やかに自分らしく生きるその姿勢が、多くの人を惹きつけ、頼りにされる理由なのかもしれません。(2023年5月取材)



## 大阪教育大学×Sky株式会社 SPECIAL TALK

Sky株式会社 日垣さん、卒業生 川畑さん、大阪教育大学 町頭先生

### 専門分野の知識はもちろん コミュニケーション力やプレゼン力がついた

**町頭** 教育協働学科は平成29年に設立されました。我々は教員養成系の大学ということで、基本的には教員を育てる学校です。しかし、これからの教育現場には教員を養成するだけでは足りないんだという流れがありました。企業や地域など周りから教育を支えていくということを考えなければならぬ。そうしてできたのが教育協働学科です。川畑さんが、ちょうど1期生になるんですよ。

**川畑** 私は高校時代に興味があったのが教育、数学、情報の3つの分野で、それを同時に幅広く学べる学科、大学が大阪教育大学の教育協働学科でした。結果的に教員にはなりませんでしたが、教育をベースにした上で数学と情報の2つを専門的に学べるというのが魅力的でした。大学では授業を通して、専門性の他にもコミュニケーション力やプレゼン力がついたなと感じています。実際に町頭先生の「論理と数理パズル」という授業での、チームのメンバーで問題を作成しあったり、それを他の方に解いていただいたり、そういった経験が学びに繋がったのだと思います。

**町頭** 教育協働学科としても、学科名にもありますが「協働」を大切にしています。他人との協働というのを強く打ち出していて、授業にも反映できるようカリキュラムを組んでいます。

**日垣** 実際に会社でも、彼にはコミュニケーション力と積極性があります。それが大学経験からくるものか、個人の資質なのかかわからないのですが、そういう面はありますね。

**川畑** そういった場数が大学で多かったのも、そのなかで伸びたのかもしれない。

**町頭** 教育協働学科は先生だけを育てるわけじゃないですからね。例えば私の専門は数学ですが、数学がそんなに得意じゃない生徒に、学校内外からどうやってアプローチしていくかといったような視点は常に持ってもらえるように教えています。川畑さんは数理情報コースだったけれども、そこから今の会社に入社したの？

**川畑** そうですね。大学で3つの分野を学んで、じゃあ実際にどういった仕事をしたいか考えた時に、プログラミングや開発の仕事をしたいと思ったのがきっかけでした。自社製品を開発するにあたって、幅広くいろんな経験を積むことができるという点と、チームで協



川畑 尚平

教育協働学科 理数専攻  
数理情報コース 2021年3月卒業

力しながら仕事を進める「ALL Sky」という言葉があるんですが、大学で学んだチームで何かをするという経験を社会人になっても活かせたらいいなと思い入社を決めました。

### チームの中でいい意味でおせっかいを焼く そんな人間を育てたい、そうやって欲しい

**日垣** 川畑さんの学生時代はどんな学生だったんですか？

**町頭** 教育協働学科の目玉の授業として、教育コラボレーション演習という授業があるんですが、本来3年生で行くところ、初めてだったということで2年生の時に試行しようということになったんです。そこで誰が行かないかなとなったときに、彼が手を挙げてくれて、いち早くコラボレーション演習をやってくれたという、積極的な子でしたね。

**日垣** 仕事は手を挙げてやるシーンというのはあまりないんですが、私としては、彼は自分が与えられた仕事をより深いところや広いところまで色々やってくれるという感覚があるんで、それも一種の積極性かなと思います。与えられている以上にやろうっていう気持ちはあるのかもしれないですね。なかなか貴重な人材だと思いますよ。それと、すごくよく気づきます。川畑さんだから気づいたということもありますね。彼は4年目なんですが、みんなが気づかないところに気づいてくれたりするんで、ありがたいですね。川畑さんをお願いすれば、という部分もあったりするんで安心感があります。

**川畑** ありがとうございます。4年目になり任せていただける分野も増えて、できることや得意なことが見つけられてきているかなと思います。今後は自分だけの知識に留めず、周りの方、チームとしての財産となっていくように、自分が得たことをチームでシェアできる力というものを身につけていきたいなと思っています。

**日垣** 先ほど出てきた「ALL Sky」は、自分のためにというだけではなく、チームのため、他の人のためといった、チームや組織という視点で判断して行動できるということが求められます。多分それは会社だけの話ではなく、地域などでも一緒だと思います。

**町頭** 私は常々学生には「おせっかいな人間であれ」と、そういう言い方をしています。おせっかいって、子供が泣いているときに鉛をあ

げるとかそういうことではなくて、色々なことを考えて、チームの中でおせっかいを焼いてくれるような、そういういい意味でおせっかいを焼ける人間を育てたい、そうやって欲しいと思っています。





# “挑戦”を通して生徒たちに勇気を届けたい

大阪市立横堤中学校 教諭 小池 優真 (学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース 2021年3月卒業)

## 大教大に入学した理由

ボディビルダーとしても活躍する異色の中学校教員、小池優真さん。本学を志望したのは、中学時代のちょっとした勘違いが発端だったと笑います。「中学の頃から、国立の大学に行きたいという希望がありました。高校進学を考える時期に指定校推薦の話聞いたことから、自分の中で言葉だけが一人歩きしてしまって、指定校推薦で国立大学にも行けると思ったんです」。そこで、進学希望者が少なく推薦をもらいやすいと考え、工業高校に入学。ところが3年生になって初めて、指定校推薦は私立大しかないとなりました。「今から受験勉強を始めても厳しいでしょうかと困っていたら、進路担当の先生が、センター試験を課さない推薦のことを教えてくださいました。いくつかの候補の中に大教大もあって、オープンキャンパスに参加してみたところ、先輩たちが優しくて、大学の雰囲気もすごく良かったので、ここで大学生活を頑張ってみようと思えました」



## 大学時代の思い出

中学から柔道を始め、大学でも柔道部だった小池さんは、大学生活も部活動が一番思い出深いといいます。「部活の内容は学生主体で考えさせてくれたので、伸び伸びと活動できました。それが成長する力にもなったのかなと思います」。入学当初はなかなか勝てなかったチームが全国大会に出場するなど躍進し、小池さん自身も、大阪学生柔道体重別大会で優勝という輝かしい成績を残しました。「柔道を始めてからずっと優勝したことがな

かったので、すごく嬉しかったです。大阪のいろんな学生と戦って勝ち上がったことはとても大きな経験でした」

## ボディビルへの挑戦

「トレーニング自体は高校3年生の時、たまたま家の近くにボディビルのジムができたのがきっかけで始めました」という小池さん。多忙な教員という仕事にありながら大会に出るようになった背景には、こんな思いがありました。「本格的にボディビルを始めたのは、何か一つのことに“挑戦”する姿を生徒たちに見せたかったから。学校では生徒たちに『勉強や試験を頑張れ』『部活を頑張れ』などと言いますが、それを言う教師自身が何も頑張っていなかったら、説得力がないのでは感じていました。そこで、教師が自ら頑張る姿を見せる

ことで、生徒たちに『自分も頑張ろう』と思ってもらえたらと考えました」。生徒たちにも“挑戦”することの大切さを熱く語り、「一緒に挑戦していこう!」と鼓舞しています。

## 仕事とトレーニングの両立

教師の仕事とトレーニングの両立について聞くと、「本当に大変です」と思わず声に力が入ります。仕事を終えてから2、3時間ほど筋トレをこなし、減量期にはさらに朝4時半に起きて1時間ジムで歩いてから出勤しているそう。そんなハードな生活を続けられるのは、他ならぬ生徒たちのおかげだといいます。「トレーニングは大変ですが、学校に来て生徒たちと関わっていると、不思議なくらい元気が出てくるんです。最初は自分の“挑戦”を通して生徒たちに頑張ってもらいたいという気持ちでしたが、生徒たちが頑張る姿を見せてくれて、逆に力を受けていることをすごく実感しています」。そんな生徒たちに何かを還元したいという思いが、小池さんの心に火をつけ、突き動かす原動力となっています。

## これからの目標

今年は3年生を担当していることから、「一番大きいのは生徒たちの進路です。一人ひとりが納得のいく進路をつかむためのサポートをすること。これが最大の目標です」と力を込めます。そのうえで、ボディビルの目標は、「まずは大阪大会での優勝。さらに今年は日本大会にも出場するので、そこで上位に入ってアジア選手権の選考対象に選ばれたい」。生徒たちへの熱い気持ちが、小池さんの“挑戦”を支えています。(2023年6月時点)



## 卒業生の活動

### 協道会(大阪教育大学柔道部OB・OG会)

大阪教育大学柔道部OB 福重 隆至(昭和57年卒)

協道会は、大阪教育大学(師範大学、学芸大学、教育大学)の柔道部に在籍した者の団体である。会員相互の親睦をはかり、その発展をはかると共に、良き社会人となるための相互研鑽を主な目的としている。その活動として、上田光男会長(昭和53年卒)を中心として母校柔道部の後援、本会主催の大阪教育大学柔道場で行う親睦試合「協道会杯」の運営、全国大会及びそれに類した会員へのお祝い等を行っている。

現在の母校柔道部は令和5年で3年連続関西学生を勝ち上がり、全日本柔道優勝大会で昨年度ベスト8の強豪東洋大学を破りベスト32に入った。また、関西学生柔道体重別選手権大会では、各階級で2位1名、3位2名、ベスト16が4名と関西で総合3位に入賞するなど素晴らしい成績を上げている。

例年5月総会、11月「協道会杯」の後に親睦会を行っており、令和6年5月5日に私たちの時代の監督船越正康先生、現在の石川美久先生にもご参加いただき、学生と共に親睦を深めた。OB

は大学、高校、中学校、小学校の教員や管理職、官公庁、民間企業等に勤め、その多くが現在も柔道指導に携わって大きな成果を上げており、各方面で活躍している。

今後も私たちが各先輩方からご指導やご支援いただいていたように、大阪教育大学柔道部を後援し、柔道部のさらなる活躍と、学生が多くを学んで良き社会人として成長していくことを期待している。



### 「こぐま」の思い出

児童文化研究会「こぐま」 曾我 正雄(昭和38年卒)

今、私は「童劇」というサークルに所属し、大阪市の学校での「いきいき活動」などで人形劇や語り、腹話術などをして楽しんでいる。

思えば、大阪学芸大学時代、児童文化研究会「こぐま」に入部したことがその発端である。

「こぐま」の思い出で一番印象深いのは、夏休み、二十数名の部員とともに一週間ほど、地方に出かけ公演に回ったことである。大道具や小道具などを持って、その土地の小学校で寝泊まりし、昼間は、子どもたちを対象に、人形劇や

紙芝居、劇などの公演を行い、公演後は子ども達と近くの川に行き、橋の上から、川に飛び込み遊んだ。その川は、深い淵があり、子どもたちの遊び場になっていた。夜は、青年団や婦人会の方々と、フォークダンスやキャンプファイヤーをして楽しんだ。まだ、高度経済成長の前で集団就職などが始まっておらず、農村文化が根付いており、農村が元気な時代であった。フォークダンスで女の人の手の硬さにふれ、柔らかい自分の手を恥ずかしく思った。夜の集いが終わるとふるをもらいに農家を訪れ、五右衛門風呂に入れてもらった。昭和のよき時代であった。

教員時代は、学校劇と話し方研究会に所属し、充実した教員生活を送った。「青空」「こぐま」に所属していた先輩が中心になり三十五年前に生まれたのが「童劇」である。



### 大阪教育大学校友会主催

#### 「卒業生と在学生の交流会」を開催

大阪教育大学校友会主催「卒業生と在学生の交流会」を、2月24日(土)にホテルアウリーナ大阪で開催し、在學生と卒業生合わせて24人が参加しました。

この交流会は、大阪教育大学同窓会天遊会の協賛のもと教員同窓会「天遊」の協力を得て、校友会行事として平成29年度から実施しているもので、在學生と卒業生が交流することで、在學生にとっては社会人になることの自覚を高めると同時に就職後の不安解消を、卒業生にとっては、社会人として成長した姿を後輩に見せることで更なる躍進をめざす機会となることを目的に実施しています。

コロナ禍の影響で5年ぶりの開催となる今年度は、今春から教員となる

在學生が現職教員の卒業生と対話することで、学校現場で働くにあたっての悩みや不安を取り除き、また、先輩教員と顔見知りとなり、気楽に情報交換できる関係性を持つことで、今後教員としての働きやすさにつながるきっかけ作りのために企画しました。

在學生の参加者からは、「不安や疑問に感じていたことを相談することができて良かったです」「4月から子どもたちの前に立つというイメージができました」などの感想が寄せられました。また卒業生の参加者は、「熱い気持ちで教師を志す学生たちに出会えて良かったです」「在學生にアドバイスやアウトプットができ、自分自身も学びの原点に立ち返る機会になりました」などと語り、両参加者から有意義な交流会となった旨の感想が寄せられました。

## 天遊会会員特典

# 長野県白馬村の「遠見山の家」を学生料金と同額で利用できます!

長野県北安曇郡白馬村にある本学課外教育施設「遠見山の家」。

夏は白馬岳への登山口として、冬は白馬五竜スキー場を背景にした魅力一杯の地です。大自然に囲まれており、春や秋のレクリエーションにも最適の場所です。

同窓会天遊会会員の方は、「遠見山の家」を学生料金と同額で利用できます。



### ◆山の家使用料(1人1泊)

	夏期(5/1~9/30)	冬期(10/1~4/30)	駐車場使用料(1台1泊)
同窓会天遊会 会員	1,100円	2,200円	550円

### 申込方法

使用日の7日前までに大阪教育大学学生支援課課外活動係へ使用願書兼許可書を提出し、使用日の3日前(土日祝除く)までに使用料を銀行振込にて納入してください。詳しくは大阪教育大学HPをご覧ください。課外活動係にご連絡ください。

- 大阪教育大学HP:<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>  
(大学のトップページから、「学生生活」→「遠見山の家」とお進みください。)
- 大阪教育大学学生支援課課外活動係  
(TEL)072-978-3310(平日9時~17時)

### ★VISAゴールドカードを特別割引年会費で利用できます。

通常年会費「11,000円(税込)」を初年度は無料とし2年目以降は前年度利用実績が10万円以上の場合は無料、前年度利用実績が10万円未満の場合は2,750円(税込)で利用いただけます。天遊会は「三井住友トラストVISAゴールドカード」と業務提携契約を締結しており、天遊会の会員の方がゴールドカードを特別割引年会費で利用できます。

### ★日産レンタカーを天遊会の会員特別料金で利用できます。

免責補償に加入した基本料金が、通常より約20%~50%OFFでご利用いただけます。  
(ご注意)日産レンタカーの店舗へ直接お申込みいただいても会員特別料金は適用されません。事前に天遊会にご連絡ください。  
詳しくは天遊会HPの「会員特典」をご覧ください。(https://www.oku-tenyukai.jp/privilege/)

### ★年1回、天遊会の会報誌「窓友」をお届けします。

### ★ホームカミングデーや講演会など、天遊会が企画・共催するイベントの案内を配信します。

その他、会員特典を随時追加しています。最新の情報は、天遊会HPでご確認ください。

天遊会HP:<https://www.oku-tenyukai.jp/>

## 大阪教育大学同窓会天遊会 寄附者芳名録 2023年4月1日~2024年3月31日

### 【ご芳名】(五十音順)(敬称略)

相澤 信司(1989)	岩阪 庸二(1964)	河合 省吾(1964)	小島 節子(1963)	多田 典子(1990)	奈良 武子(1953)	藤本 民子(1969)	森脇 有加(1996)
青木 優子(1998)	岩田 茂(1957)	川崎 道生(1978)	小林 秀郎(1961)	田中 一郎(1968)	西 優一郎(2020)	藤本 敏史(1989)	安田 誠(2014)
赤崎 節子(1972)	岩田 崇子(1992)	川田 圭太(2008)	阪井 正和(1968)	田中 好江(1973)	西尾 泰子(1988)	船井 紀(1963)	山岡 智司(1966)
秋山 峻一(1966)	植田 明(1956)	川原 亜津美(2008)	佐々木 悠人(2014)	田野 和子(1968)	西村 和子(1984)	古野 哲夫(1969)	山口 成幸(1972)
阿部 健四郎(1961)	上野 邦治(1961)	管 謹中(1992)	澤 久美子(1976)	月岡 照野(1960)	西山 和典(1958)	細川 克寿(1987)	山口 健太(2006)
天野 栄一(1980)	大澤 政徳(1962)	岸本 恭子(1980)	椎森 稔(1986)	辻尾 清史(1967)	野宮 尊志(2005)	堀家 智子(1970)	山口 良治(1994)
有本 亮現(1956)	大坪 洋子(2022)	北村 洋美(1963)	重元 貴久子(1991)	津田 喜久代(1957)	橋本 勝子(1966)	前田 都陽子(1976)	山澤 峰子(1955)
池上 真優美(1968)	大平 静男(1974)	木虎 万由子(2017)	澁谷 美奈(1989)	坪井 宏暁(1983)	秦 博文(1970)	増田 生紀男(1969)	山下 良一(1965)
池崎 真理子(1969)	岡野 久雄(1974)	木下 新二(1962)	島内 武(1968)	寺田 友子(1966)	羽端 長之(1991)	増田 直子(1989)	山根 敏彦(1970)
池島 祐(1962)	岡本 円(2018)	吉良 茂子(1953)	嶋野 政栄(1961)	徳永 幸男(1990)	濱崎 徹(2004)	町田 妃露子(2004)	山本 達雄(1969)
石田 晶大(1973)	岡森 美智子(1987)	草加 哲男(1959)	下村 八須夫(1967)	中尾 高一郎(1959)	坂東 亮次(1963)	松田 真理子(1994)	山本 裕美(1972)
石山 成之(1993)	沖野 量一(1984)	草深 隆一(1960)	鈴木 蒼生子(1966)	中尾 武志(1968)	樋口 真光(1987)	松本 孝子(1961)	吉田 裕子(1965)
市橋 勲(1958)	柿坂 龍之介(2021)	楠本 久美子(1974)	鈴木 克爾(1966)	長尾 敏一(1993)	菱沼 直司(1963)	松本 慎一(1992)	吉野 朋子(1981)
市橋 美恵子(1965)	角田 穂積(1967)	久保 克三(1966)	鈴木 玉香(1966)	永木 凱樹(1962)	平山 三千代(2004)	丸田 和夫(2001)	米沢 恵子(2010)
伊藤 幸子(1964)	鹿島 理子(1995)	熊谷 文孝(1995)	鈴木 朱理(2004)	中澤 一(1974)	福永 昌子(1978)	水野 真由美(1967)	米村 家栄子(1954)
乾 龍介(1969)	加藤 良子(1971)	蔵吉 奎子(1961)	鈴木 暁史(1997)	中國 大三郎(1976)	藤井 隆三(1958)	宮崎 優(2023)	蓮田 和志(1965)
井上 清(1967)	亀井 久枝(1967)	黒川 万佐子(1961)	勢畑 多恵子(1981)	中塚 清人(1975)	藤本 淑子(1959)	椋代 昭(1958)	若山 英雄(1965)
井上 博之(1973)	瓶井 典子(1981)	小井戸 裕子(1974)	大同 佳江(1997)	仲野 麻紀(1993)	藤田 光廣(1963)	森 健(1984)	和田 秀昭(2009)
今井 富美子(2011)	河合 英一(1962)	古賀 克之(1988)	竹本 由紀子(1967)	鍋本 カマリ(1965)	藤田 浩(1987)	森下 規代子(1970)	渡邊 秀聡(2019)

ご芳名の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。( )内は最終卒業年を示しています。

## 令和5年度 天遊会 事業報告 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

月	事業
4月	令和5年度新入生に天遊会会報誌「窓友」第7号を配布 令和5年度新入生に入学記念品を進呈
6月24日	天遊会総会
7月	教員同窓会「天遊」活動への支援
10月	天遊会会報誌「窓友」第8号発行
10月25日～ 12月26日	第8回大阪教育大学ホームカミングデーonline開催
11月3日	第8回大阪教育大学ホームカミングデーonline LIVE配信
12月	大学基金へ寄附(創基150周年記念事業のため)
2月24日	第4回卒業生と在学生の交流会 ホテルアウィーナ大阪(校友会主催)
3月	令和5年度卒業生に天遊会会報誌「窓友」第8号を配布 令和5年度卒業生に卒業記念品を進呈

## 天遊会役員名簿

会長	島内 武	理事	奥村 孝二
	乾 龍介		森 健
副会長	三澤 正彦	理事(会計)	竹島 園枝
	渡辺 重之		田中 達
評議員	篠原 洋子	監事	井上 博之
	高田 奈津子		馬場 広之
	立川 優		
	野中 浩治		

任期:令和5(2023)年4月1日～令和7(2025)年3月31日

## 天遊会顧問

岡本 幾子	町頭 義朗
鈴木 剛	出相 泰裕
峯 明秀	鈴木 真由子
藤井 睦子	柴田 慎弥
赤木 登代	川村 泰史
宮崎 孝	南山 和弘
土山 和久	



## 令和6年度総会報告

令和6年6月22日(土)天王寺キャンパスで  
令和6年度天遊会総会を開催しました。

- 議題**
- (1) 令和5年度天遊会事業報告及び決算報告について
  - (2) 令和6年度天遊会事業計画及び予算案について
  - (3) ホームカミングデーについて
  - (4) 会報誌「窓友 Vol.9」の発行について
  - (5) その他
- 報告**
- (1) 卒業生と在学生の交流会について
  - (2) その他

## 令和5年度天遊会 決算報告 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

### 一般会計

(単位:円)

科目	収入実績額
繰越金	18,208,102
会費収入	32,150,000
寄附金・協力金収入	1,305,000
事業収入	60,778
その他収入	6,680
合計	51,730,560

科目	支出額
事業費	20,433,963
総会費	34,500
寄附金(大阪教育大学基金)	5,000,000
大学支援費	1,165,910
学生会員支援費	3,375,580
研究会・講演会費	15,800
会報費	5,914,036
寄附金(会員名簿管理システム費)	800,000
ホームカミングデー費	2,691,717
支部支援費	136,420
校友会年会費	100,000
終身会費収入返金	1,200,000
管理費(事務局経費)	2,818,483
寄附金(事務局業務委託費)	2,200,000
会議費	2,000
広報費	189,750
事務費	326,375
振込手数料	11,154
コンビニ収納手数料	47,552
ゆうちょ口座振込手数料	19,432
ネットバンキング手数料	21,120
通信費	0
支払手数料	1,100
特別会計繰入(※)	15,000,000
合計	38,252,446

収入の部合計	51,730,560
支出の部合計	38,252,446
差引残高	13,478,114

特別会計(※)同窓会館設立積立金へ繰入  
差引残高13,478,114円は令和6年度へ繰越

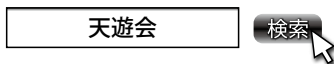
# 同窓生名簿管理システムをご利用いただけます!

同窓生名簿管理システムでご自身の登録情報の確認と変更、同窓生の情報の検索・閲覧をすることができます。  
また、転居・改姓された際にも同窓生名簿システムより登録ができます。(従来通りのFAX、電話、メールでも受付しております。)  
会員専用WEBサービスご利用の手引きをご覧になって、ぜひご利用くださいますようお願いいたします。

※ブラウザ(Google Chrome,Firefox,Microsoft Edge)のバージョンが古い場合は正常に機能しない場合がありますのでなるべく最新バージョンでご利用ください。

## 大阪教育大学同窓会 天遊会 会員専用Webサービス ご利用の手引き

<https://www.oku-tenyukai.jp/>



画面右下

### ① 「天遊会会員専用Webサービス」をクリックしてください。



### ② 「会員ID／パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、  
メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。



- ✓ ログイン後、会員ID／パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、ログイン画面「パスワードを忘れた方」から再発行の事ができます。
- ✓ セキュリティはシステム管理者にて充分に守られますが、各会員におかれましては、ご自身のID／パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。

### ③ 会員専用サイトでは主に以下のような機能があります。

- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更
- ✓ 同窓生の検索・閲覧 (WEB版同窓会名簿)  
同窓生の情報のうち、公開可とされたものを検索・閲覧することができます。

### ④ ご自身の登録情報の確認と変更



- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更いただけますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度公開して良いか、ご自分で設定してください。「全会員に公開」「同系同年卒にのみ公開」「非公開」の設定ができます。



編集画面

### ⑤ WEB版同窓会名簿の閲覧

卒業・修了年、氏名、住所、勤務先、利用しているSNSを検索し、本人が公開を許可した情報を閲覧できます。



# 第9回 大阪教育大学 ホームカミングデー

大阪教育大学 創基150周年記念式典と共同開催

参加費  
無料

日時

令和6年10月27日(日) 13:00~14:25

(受付:12:45~)

場所

シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

スケジュール

- 開会挨拶
- トークコーナー

テーマ

「本日限定!!私が大教大生だった頃  
~今だから言える〇〇な話~」

司会 乾 龍介 氏

- 学園歌斉唱 (大阪教育大学 混声合唱団)
- 閉会挨拶
- 大阪教育大学 創基150周年記念式典 (14:30~17:30)
  - ・〈第1部〉記念式典
  - ・〈第2部〉記念講演会
  - ・レセプション(祝賀会) ※立食形式



司会 乾 龍介 氏 (昭和44年卒)

大阪教育大学

150<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

申込方法

10月18日(金)までにお申し込みください。

○専用サイトによる受付

スマホ、タブレット、PCからQRコードを  
利用してお申し込みください。



○メール・FAXによる受付

<受付メールアドレス>

[dosoren@bur.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:dosoren@bur.osaka-kyoiku.ac.jp)

<受付FAX> 072-978-3980

以下の項目を記載し、メールかFAXでお申し込みください。

【必須項目】氏名(ふりがな)、ご住所、電話番号、本学の  
最終学歴、卒業・修了年月、ご希望の連絡  
方法(電話、メール)

アクセス

- ・近鉄「大阪上本町駅」直結  
(近鉄「大阪難波駅」より2駅約3分)
- ・Osaka Metro谷町線・千日前線「谷町九丁目駅」より  
徒歩約5分  
(「東梅田駅」より谷町線で約15分、「なんば駅」より千日前線で約5分)

※ホームカミングデーに続いて創基150周年式典(レセプション(祝賀会)を含む)にご参加いただけます。(参加費無料)

※当日の参加につきまして、手話通訳等の配慮が必要な方は  
9月27日(金)までに同窓生連携室までお知らせください。

※スケジュールは変更となる場合があります。

<お問い合わせ先>

大阪教育大学同窓生連携室

TEL:072-978-3695 FAX:072-978-3980

e-mail: [dosoren@bur.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:dosoren@bur.osaka-kyoiku.ac.jp)



大阪教育大学同窓会天遊会会報 第9号 2024年9月発行

編集・発行 大阪教育大学同窓会天遊会事務局 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 大阪教育大学同窓生連携室 大学会館1階 共通事務室内

TEL:072-978-3695(平日9時~16時) FAX:072-978-3980 HP:<https://www.oku-tenyukai.jp/>